

誰でも参加・出入り自由の会議でルールを決める ～「ことば蔵交流フロア運営会議」の取り組み～

伊丹市立図書館「ことば蔵」(兵庫県伊丹市) <http://www.itami-library.jp/>

基本データ (数値はH25年現在)

住所	伊丹市宮ノ前3-7-4
電話番号	072-783-2775
人口(図書館が所在する市町村)	197,160人
職員数(うち有資格者数)	28人(15人)
蔵書数	538,488冊
登録者数	56,524人
年間貸出冊数(H24)	1,427,712冊

目的・趣旨

「ことば蔵交流フロア運営会議」は「本を借りるだけじゃ物足りない」の考えのもと「本と出会い、ことばを交わす」をキーワードに、図書館内のフリースペース「交流フロア」の使い方やイベントを、図書館と市民と一緒に考え、実行していく場として活用している。

取組概要

平成24年7月の移転開館にあわせ、開館前の同年5月に「ことば蔵交流フロア運営会議」を設置した。

誰でも自由に参加でき、使用の約束事やイベントの企画を参加者とともに決めていく場となっている。

ことば蔵は、「公園のような図書館」をコンセプトとしており、従来の図書館機能に加え、人と人が語り合うことのできる交流機能を備えている。

「交流フロア」はこの交流機能の拠点となっているスペースである。



交流フロア運営会議

特徴

- 開催は毎月第1水曜日の午後6時半から
- 参加は自由、当日の進行役も参加者の中から決めるというフラットな会議

<会議の内容>

- ①前回の会議の振り返り
- ②前月のイベント紹介
- ③担当者の悩み相談
- ④企画提案・発表

「担当者の悩み相談」では、これまでに館内飲食や掲示のルール、入館者増に向けた方策などについて協議され、その多くを取り入れ運営している。

「企画提案・発表」では、フロアを自由に使うために様々な企画をもった人たちがプレゼンし、実施の可否や実施にあたってのアドバイスを行う場としている。ここからは多くの企画が実現されている。

<交流フロア運営会議から実現した企画の例>

●『カエボン』

館内に設置されている本が交換できる棚(カエボン棚)に自分のお薦めする本を持参し、自作の帯をつけ、他の人が置いたお薦め本と交換できる仕組み。

図書館で合コンも?男女が「恋」に関するおすすめの本を持ち寄り、お酒を楽しみながら本を紹介し、交換しあう交流イベント『恋のカエボン』も実施した。

●『絵本の世界をジオラマで再現』

市内の中学校で「ことば蔵でできること」を企画する宿題が出され、提出された企画の中から運営会議を通して実現。企画からジオラマの制作、展示まで中学生が行った。



カエボン棚

取組の成果と今後について

図書館だけで使用ルールやイベントを決めるのではなく「交流フロア運営会議」という別のフィルターを設けることで、運営の幅が広がり、従前とは違った市民とのかかわりや事業展開が図られている。今後は運営会議を続けていくことで逆に図書館の事情がわかり、市民が市民目線から図書館目線になってしまわないよう、またメンバーの固定化などに気をつけながら、誰もが自由に参加でき、発言できる場であり続けたい。